



令和5年度の取組み実績について

1 民間事業者のアイデア等を活用した普及啓発

1) ユニバーサルデザインの理念を踏まえた落語会による普及啓発

60歳以上の参加の多い市主催のイベントにおいて、ユニバーサルデザインの理念を踏まえた落語会を実施し、普及啓発を実施した。

(1) イベント「アラカンフェスタ」内で
障がい者理解をテーマとした落語会を開催

- ・日時 令和5年10月21日(土)
- ・出演 桂 福点 氏
- ・観客数 約80名



(2) イベント「博多じょうもんさん天神市場」内で
外国人落語家による落語会を開催

- ・日時 令和5年11月26日(日)
- ・出演 フランス人落語パフォーマー
尻流複写二(シシル・コピーニ) 氏
- ・観客数 約200名



2) 移動時を意識した公共交通機関におけるマナーアップポスターの制作・掲出

福岡市内を走るバス、西鉄電車、車内・駅構内、福岡市営地下鉄車内にマナーアップポスター広告を制作し掲出。

(1) 西鉄電車 西鉄天神大牟田線・中吊り(B3)
・期間 令和5年11月7日(火)～2月26日(月)
・掲出枚数 計800枚



(2) 西鉄電車 西鉄天神大牟田線 市内7駅+貝塚線9駅
・期間 令和5年11月8日(水)～2月27日(火)
・掲出枚数 16枚(カ所)



(3) 西鉄バス 車内デジタルサイネージ
・期間 令和5年11月8日(水)～2月27日(火)
・掲出枚数 34台・94面



(4) 福岡市地下鉄 空港線・箱崎線中吊り(B3)
・期間 令和5年12月2日(土)～12月7日(木)
・掲出枚数 276枚



(5) 福岡市地下鉄 全線・窓上(B3)
・期間 令和5年12月1日(金)～1月31日(水)
・掲出枚数 218枚



3) SNS × ラジオ 「ユニバーサルデザインマンス!」の実施

福岡市 SNS アカウントで投稿する記事の企画 として、多言語放送ラジオ局 LOVEFM において 11 月からの 1 か月間「ユニバーサルデザイン・マンス」と題したコーナー放送を実施。全 12 回 10 分程度、12 組の著名人が「ユニバーサルデザイン」をテーマにトークを実施。放送後、直筆パネルを手に写真撮影し、トーク内容を抜粋して SNS に投稿。

1. 11/ 1 放送 企画調整部 濱口
2. 11/ 7 放送 元女子バレーボール日本代表 新鍋 理沙 様
3. 11/ 8 放送 アコースティック・デュオ BE THE VOICE ボーカル 和田純子 様
4. 11/ 8 放送 アイドルグループ LinQ (高木悠未 様、有村南海 様)
5. 11/14 放送 元プロ野球選手 森福 充彦 様
6. 11/15 放送 『Fukuoka Now』編集長 ニック・サーズ 様
7. 11/15 放送 落語家 桂 福点 様
8. 11/21 放送 元プロサッカー選手 小林 久晃 様
9. 11/22 放送 車いすフェンシングアスリート 加納 慎太郎 様
10. 11/22 放送 劇団 万能グローブガラパゴスダイナモス 椎木 樹人 様
11. 11/28 放送 DJ ジェフ太郎 様 × DJ Anna 様 対談
12. 2/16 放送 DJ Yuri 様 ※2/1 「ユニバーサルデザイン体験会」レポート



4) 「ユニバーサルデザイン体験会」の実施

市民や事業者等の参加を促す企画として、天神・博多にある商業施設のスタッフなどが参加し、天神におけるユニバーサルデザイン体験や意見交換会を実施。参加者は、普段の自分と異なる体験をし、その体験を来訪者への対応や接客に活かすという観点で車いす、白杖、高齢者体験スーツを使用しながら“まち歩き”を実施。

- ・日時 令和6年2月1日（木）11:00～16:00
- ・開催場所 福岡市営地下鉄七隈線「天神南」駅構内
西鉄福岡（天神）駅北口
西鉄天神高速バスターミナル
- ・ゲスト講師 九州大学大学院芸術工学研究院准教授 張氏
福岡市介護実習普及センター 作業療法士 八尋氏
- ・参加人数 約20名



5) 福岡市公式SNSアカウントによる市の取組みの紹介

ユニバーサルデザインの理念に基づく取組みについてSNSで定期的に紹介。



【フォロワー数】 1,138人（令和6年4月時点） ※ 995人（令和5年3月時点）

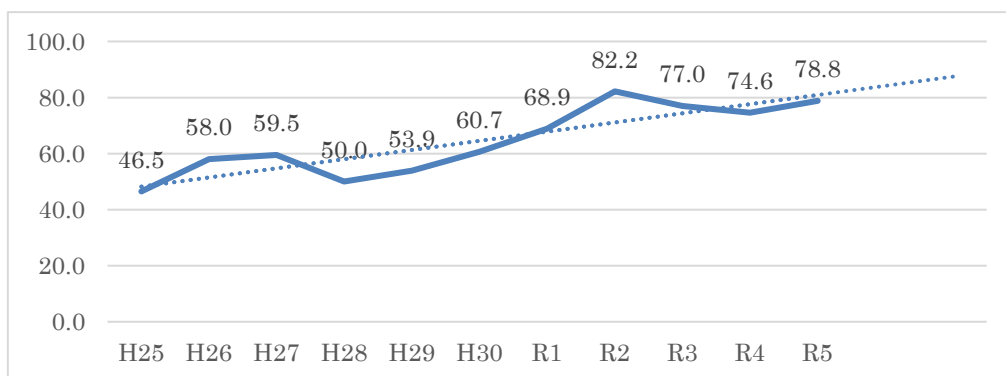
【今後の方向性】

○ユニバーサルデザインの認知度について、18歳～20歳代の認知度は上昇傾向である一方、高齢者層の認知度は伸び悩む状況が継続しているため、引き続き高齢者層へ訴求するような普及・啓発の方法を検討していく必要がある。

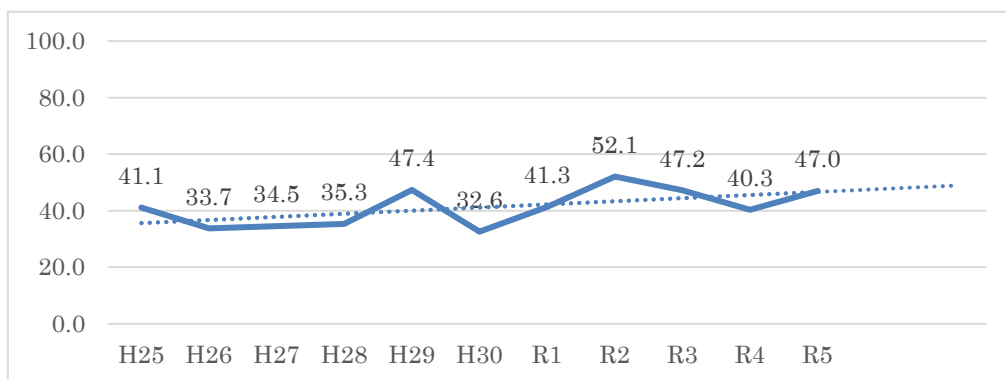
○今年度初めて実施したユニバーサルデザインの理念を踏まえた落語会は、一度にリーチできる人数は限られるが、参加者には非常に好評であったため、リアルイベントの開催も含めて普及・啓発の方向性を検討していく。

<参考>ユニバーサルデザインの理解度(意味を知っている人) (市政アンケート調査より)

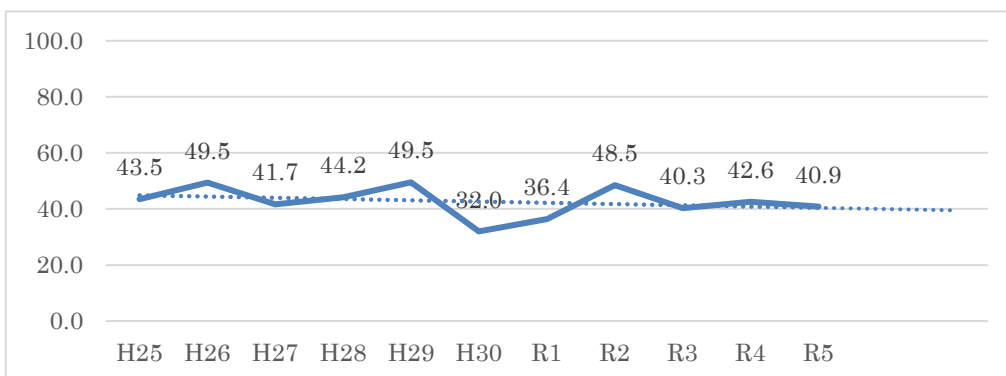
18歳～20歳代



60歳代



70歳代～



2 広報物による普及啓発の取組み

「ユニバーサル都市・福岡」の取組みを紹介する広報物としてリーフレット・ポスターを制作。ユニバーサルデザインの普及が進む中で、市民の皆さまが身近にあるUDに気が付いていないということを想定し、まちの中にある様々なUDを紹介するという形式で制作。



3 福岡版ユニバーサルマナー検定の実施

例年に引き続き、高齢者や障がい者への接し方・配慮のポイントなどについて学ぶことができる福岡市オリジナルの講座「福岡版ユニバーサルマナー検定」を実施した。

(受講者全員がユニバーサルマナー検定3級資格を取得)

(1) 講座内容 ★は福岡市オリジナル講座の特色

① 講義

- ・ 障がいとは何か
- ・ 高齢者や障がい者への向き合い方
- ・ 困っている人を見かけたときのお声がけ方法

★ コロナ下での障がい者の生活と心理

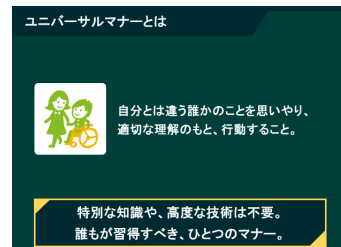
② 演習

- ★ 市の身近なユニバーサルデザインの事例など
- ★ 新しい生活様式の中でも実践できるユニバーサルマナー

(2) 開催日程

- ① 8月26日(土) 10時～12時30分 ※会場受検
 - ② 9月16日(土) 13時～15時30分 ※オンライン
 - ③ 10月14日(土) 13時～15時30分 ※会場受検
 - ④ 11月18日(土) 10時～12時30分 ※オンライン
 - ⑤ 12月16日(土) 10時～12時30分 ※オンライン
- (令和2年度：全7回実施、令和3年度：全4回実施
令和4年度：全6回実施)

(3) 受講料 5,500円



(4) 実績

受講者数：79名

(令和4年度：受講者数82名、令和3年度：受講者数230名、令和2年度：受講者数453名)

<受講者の感想> ※抜粋

- ・声かけはもちろん、気づきも大事なことだと思った。
自分自身もスキルアップしていきたいと思う。
- ・具体的な声掛けの言葉やサポートの際の心構えを知ることができたので、
今後サポートをする場面が訪れたときに以前よりも自信をもって声掛けや
行動ができそうだと感じた。仕事や生活で役立てたい。など

【今後の方向性】

- 4年間で844名が資格を取得し、着実に成果が出ている一方で、受講者は年々減少しており、関心のある層の受講は完了したことが考えられる。また、オンライン検定を3回実施したが、いずれも集客が難しい状況であった。
- また、受講いただく方の年齢も幅広く、高齢になるにしたがってオンライン受講が難しいという連絡が事務局に数件寄せられたこともあり、今年度は事業者とも協議し、すべて会場受検に切り替える形も検討する。

4 市職員研修（eラーニング）の実施

ユニバーサルデザインの考え方や「ユニバーサル都市・福岡」について、全職員を対象としたeラーニングを実施した。

- (1) 実施期間 令和5年6月26日から令和5年7月24日まで
- (2) 受講率 9,313人/12,554人(74.2%)
※令和4年度受講率 8,366人/11,725人(71.4%)
- (3) 研修内容
 - ① 「ユニバーサル都市・福岡」とは
ユニバーサルデザイン、キャッチフレーズ、ロゴマーク
 - ② 各所属でできることは
「ユニバーサル都市・福岡」職員行動指針

【今後の方向性】

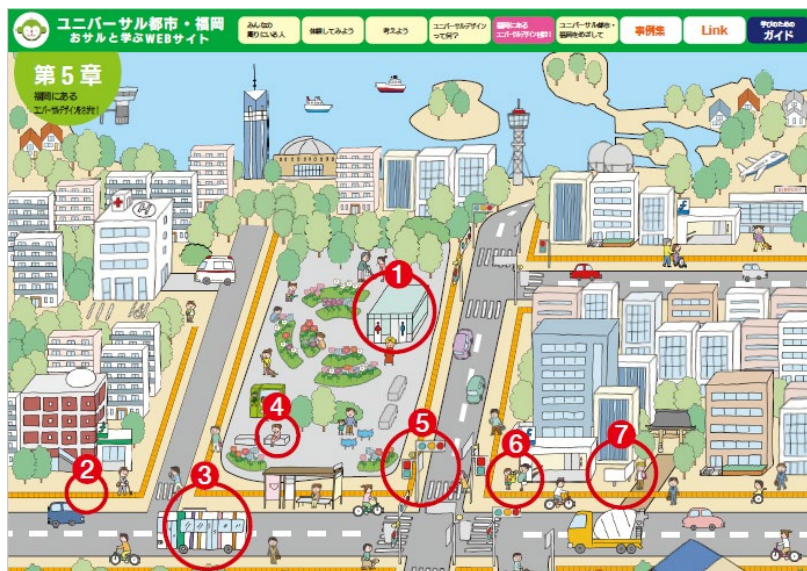
- 引き続き、市職員として必要な知識の習得にeラーニングを活用していく。
- 一方で、年に1回の研修ではユニバーサルデザインに関する知識や情報を得る機会が少ない点が課題であるため、職員用WEBページにて定期的な情報発信を行うなど、日頃から職員がユニバーサルデザインの理解度向上を図れるような仕掛けを構築していく。

5 「ユニバーサル都市・福岡」児童向け副読本の改定

主に小学4年生向けの、ユニバーサルデザインを学ぶための教材(H25年度制作)について、時代に見合った内容にアップデートするため、令和4年度に改訂委員会を開催し、改定の方向性について議論を行った。

今年度は、改訂委員会の意見として出された使いやすさ、共有のしやすさ、デジタルツールへの依存性の少なさ、情報保障の観点を総合的に勘案して、Webサイトの構築を行う。

【WEB サイトイメージ】



【今後の方向性】

○改訂委員会を開催し、委員会の意見をいただきながら事業を進める。

○WEB サイトの構築事業者は、仕様を確定した後に提案競技で決定。WEB サイトの制作状況を改訂委員会で共有し、委員会で出された意見を都度反映するような形式でアジャイルに進める。

【スケジュール案】

5月 :仕様案の作成

・全体コンセプトの整理(誰一人取り残さない、理解から行動につながる教材の作成)

⇒ トップ画面の構成、メニュー表示、章構成の作成

⇒ 盛り込むコンテンツ(現行の副読本+時代に合わせた新しい要素)の抽出

6月 :改訂委員会の開催

・事務局作成の仕様案をベースとして議論

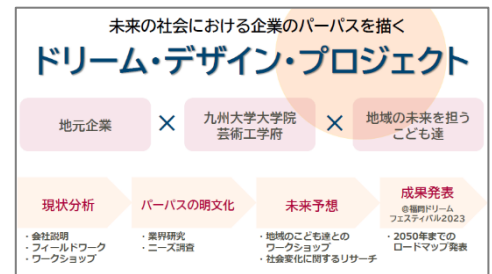
7月 :提案競技による事業者選定

8月~:改定業務の実施

・定期的に改訂委員会を開催し、制作状況を共有

6 アウトリーチ活動

「ドリーム・デザイン・プロジェクト with キッザニア福岡」にて参加学生10名が描く協力企業の2050年の未来社会におけるロードマップに対して「ユニバーサルデザイン」の観点から講評を実施



- (1) 授業名 ドリーム・デザイン・プロジェクト with キッザニア福岡
- (2) 枠組み 九州大学大学院芸術工学府 スタジオ・プロジェクト科目
- (3) 目的 今後の社会変化を踏まえ、2050年の未来社会における協力企業それぞれの役割（パーパス）とあるべき姿を提案し、それに至るまでのロードマップを作成する。
- (4) 担当教員 九州大学大学院芸術工学府 芸術工学専攻 ストラテジックデザインコース 平井 康之 教授
九州大学大学院芸術工学府 芸術工学専攻 デイアデザインコース 藤 紀里子 助教授
- (5) 参加者 九州大学芸術工学府の大学院生 10 名
- (6) 参加企業 4 社(アサヒサンクリーン (株)、(株) 筑水キャニコム、(株) 筑豊製作所、ロイヤル HDS (株))